

# 平成17年度事務事業評価表

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1303
事業コード		事務事業名	都市計画基本図作成・縦覧・販売事業	
根拠法令等	都市計画法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
その他	その他

## ②事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び建築、不動産関係の業者に
手 段	都市計画図の縦覧及び販売をすることにより
想定する成果	都市計画事業の周知を行うことで事業の円滑を図る。

## ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
事業内容	都市計画図印刷製本費 0円	都市計画図印刷製本費 0円 都市計画基本図修正 42,000円	都市計画図印刷製本費 1,292,000円
都市計画図販売	2,039枚	1,901枚	1,800枚
販売収入	327,800円	301,800円	300,000円

## ④成果指標

成果指標名	①	②
都市計画図販売枚数		
成果指標の説明	都市計画図販売枚数	

## ⑤事業の進捗状況

( 一般会計 )

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1,800枚
	実績	2,039枚	1,901枚	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	0	42	1,292
	人件費	7,232	7,240	7,160
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	7,232	7,282	8,452
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	328	302	300
	一般財源	6,905	6,980	8,152

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	都市計画図の縦覧及び販売に関しては、市民の要望に対し概ね応えられている。
経済効率性	2	2	都市計画図の印刷に関しコストダウンの方法を検討していく。
事務効率性	2	2	販売枚数の多い白図（1/2500）については、在庫管理を行い、常に職員でコピーを行っている。
必要性	3	3	都市計画法に定められた事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	都市計画図の縦覧及び販売の対象は市民及び建築、不動産関係の業者を対象に行っており、その際に要望があれば聞いている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	縦覧及び販売については現行の方法で問題もないのでこのままとする。
------	---	---	----------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
軽微な変更に関しては、改訂版を印刷せず訂正シール貼りや着色修正にて対応し販売した。	1,344千円

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年10月から地図情報システムに基く都市計画基本図作成・縦覧・販売を行う。これにより             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 都市計画基本図等の出力が可能</li> <li>2 利用者が画面を確認しながら打ち出し可能</li> <li>3 待ち時間の短縮などが達成される。販売については手数料条例に基づいて行う。</li> </ol> </li> <li>・地図情報システム導入のうへは、職員の同システムに対する基本的知識、取扱能力の向上を図る必要がある。</li> </ul>
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

販売価格を引き下げるための印刷費用の引き下げをした価格で予算要求していきたい。
---

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

# 平成17年度事務事業評価表

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1303
事業コード		事務事業名	公的サイン整備事業	
根拠法令等	F-POLIS計画	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
人と自然が共生する潤いあるまちづくり	都市景観

## ②事務事業の内容

対象(受益者)	歩行者及び車両に対し
手 段	公的サイン(統一したデザインの標識)を設置することにより
想定する成果	市民の都市景観に対する意識の高揚と公共施設への案内を円滑に行う。

## ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
事業内容	歩行者系標識板設置 2基 設置済数 57基 3,103,800円	設計計画調査、検討 関係官庁協議 設置費用見積徴集、査定	車両系標識板設置、取替 3基 施設案内 4基 12,500,000円

## ④成果指標

成果指標名	公的サイン設置率	①	②
成果指標の説明	設置済数割/計画総設置数(333)×100		

## ⑤事業の進捗状況 ( 一般会計 ) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	18.9%
	実績	17.1%	17.1%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	3,104	0	12,500
	人件費	2,411	804	2,387
	(人数)	0.3	0.1	0.3
	合計	5,515	804	14,887
財源内訳	国	1,000		4,200
	県			
	市債			4,700
	その他			
	一般財源	4,515	804	5,987

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	公的サインの全体計画から見ると事業の達成度はかなり低い値となっている。この原因は1基当りの設置費用が特別注文のため高価である事が原因。
経済効率性	1	2	都市景観を考慮した標識であり、一般の標識と比べて高価となるが、費用対効果をどう考えるかは難しい問題である。価格を下げるための努力は毎年行っており、少しずつではあるが、下がっている。
事務効率性	2	2	限られた人員をより効率よく投入する事により効果をあげている。
必要性	3	3	観光交流立市宣言もされており、都市景観を考慮すると市が実施すべき事業である。
小計	7 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	事業の計画段階では市民の参加はなかったが、利用者は市民及び蒲郡を訪れる人々である。
合計	9 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	案内標識の設置については市民や蒲郡を訪れる人々に対して市内での移動や、まちの情報をわかりやすく伝えるため市として行っていくべき事業である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
公的サインは蒲郡市が都市景観に配慮した独自の標識であるため、1基当りの設置費用が高価となっており、価格を引き下げをすべく材料、材質の変更を行いコストダウンに努めてきた。	車両系 H14 → H17 (4,410千円/基) (4,170千円/基) 240千円/基の縮減をしている

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画設置数に対する設置済数が平成14年度 16.0%、平成17年度17.1%と設置率が上がっていない。</li> <li>・設置率向上のため更なるコストダウンが必要となっており、それを行うための形状変更などを行っていく。</li> </ul>
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

今年度よりさらに安い単価で予算要求していきたい。
--------------------------

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

# 平成17年度事務事業評価表

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1303
事業コード		事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	
根拠法令等	都市計画法（法第18条2）	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	まちづくりの基本理念・将来都市像	施策名	基本目標
------	------------------	-----	------

## ②事務事業の内容

対象（受益者）	市民と共に
手 段	まちづくりの将来ビジョン、地域別構想など具体的に定め
想定する成果	都市計画の総合的な指針とし地域レベルのまちづくりを推進する。

## ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
作業内容	資料収集・委託発注・作業部会立上げ	意識調査・作業部会開催 策定委員会開催・地区別住民会議開催・素案の検討	策定委員会開催・幹事会開催 パブリックコメント募集 計画書作成

## ④成果指標

成果指標名	①	②
	住民意見の反映措置	住民意見の反映措置
成果指標の説明	住民会議参加者（3地区×3回） 延べ225人	市民意識調査 回収（1201）/配布（2400）=回収率 50%

## ⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	—
	実績	—	225名	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	—	50.0%	—
事業費	事業費	0	6,737	4,000
	人件費	7,232	7,240	7,160
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	7,232	13,976	11,160
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,232	13,976	11,160

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	上位計画・関連計画などの課題の整理、現状把握を行い市民参加により全体計画を検討。
経済効率性	3	3	専門的な部分はコンサルタント会社に委託し、それ以外の部分は計画開発課職員により実施。
事務効率性	2	2	作業部会の設置、住民会議の開催等で市民の意向を反映させるためにかなりの事務量を必要とした。
必要性	3	3	蒲郡市の上位計画や社会経済状況の変化などを背景に見直しを行うことにより、本市におけるまちづくりの基本的な方向を示すものである。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民の計画づくりへの参画のため、住民会議や市民アンケートを実施し都市づくりの理念と目標を加えて都市整備の方針をたて、報告書をまとめた。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	市の根幹を成す計画であり、まちづくりをするうえで大変重要である。今後、市民の参画を促す。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
外部委託を減らし、庁内職員で実務を行った。 ・市の現状把握・検証 ・市民への周知のための広報作成、住民会議かわら版、住民会議ニュース等の発行 ・現状課題整理のための庁内各課ヒヤリングの実施。	

⑧今後改善すべき点

市民参加、住民主導による地域協働のまちづくりを進めていくために周知のための広報活動が重要である。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

# 平成17年度事務事業評価表

担当	都市開発部	計画開発課	内線等	1303
事業コード		事務事業名	都市施設の見直し事業（都市計画道路の見直し）	
根拠法令等	都市計画法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

## ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
快適でやすらぎのあるまちづくり	道路

## ②事務事業の内容

対象（受益者）	市民に
手 段	都市計画施設の配置の基本的な考えを示し
想定する成果	市全体あるいは地域全体としての道路の必要性や配置、規模等の検討を行う。

## ③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
改良済延長	L = 57,697m	L = 57,882m	L = 58,073m
検討会開催	3回（市作業部会）	4回	3回
地元説明会	—	マスタープラン住民会議にて意見聴取	3回

## ④成果指標

成果指標名	①	②
都市計画道路整備率		
成果指標の説明	都市計画道路改良済／総延長(100.83Km)	

## ⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	57.6%
	実績	57.2%	57.4%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	4,822	4,826	4,774
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	4,822	4,826	4,774
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,822	4,826	4,774

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	未整備区間の中から検討対象区間の抽出を行い、県と協議のうえ1路線ごとに見直し検討を実施した。
経済効率性	2	2	主として内部事務であり、事業費として執行している経費はない。
事務効率性	2	2	見直し方針を基に多角的な観点から検討し、市と県で十分な調整を行う必要がある。
必要性	3	3	社会経済状況などが変化するなかで、都市計画道路網の見直しを行い、より重点的・効率的な道路整備を行う。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	道路は市民生活に密着した基盤施設であることから、渋滞解消や道路整備に関する市民要望が多い状況である。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	都市計画道路は、今後も市民の生活や事業活動を支える施設として、地域の活性化に向け、今以上に果たすべき役割が大きくなる。将来像に照らし合わせ必要性や配置等を検討を行うことが求められる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
◎都市計画道路の見直しは未整備区間を対象に愛知県と検討を重ねながら業務を進めている。 ・未整備区間における資料の収集・整理し、再検討の必要があるかどうか検討した。（19路線を抽出） ・再検討が必要とされた19路線について各路線が抱える課題を整理して廃止検討候補を選定（11路線） ・交通量の面から廃止候補路線をチェック	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画の現案として地元でどのような形で周知するか。</li> <li>・市民の意見の聞き取り、意見のまとめをどのように反映するか。</li> </ul>
---

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】